

D-9 「今から SDGs」

～プラ汚染・温暖化対策～

講義担当:(団体名) 横浜温暖化防止推進会議

講座対象者	☐ 小学校低学年 ☐ 小学校中学年 ☒ 小学校高学年 ☐ 放課後施設利用児童 ☒ 中学生 ☒ 高校生 ☒ 大学生 ☒ 地域一般					
授業活用例	理科や社会の授業として実施					
関連のあるSDGsのゴール	  			オンライン授業	☒ 可 ☐ 不可	
対応可能曜日	☒ 平日 ☒ 休日 ☐ その他()曜日)					
対応時間	8時半～17時					
年間実施上限数	特に限定しない					
講座実施方法 ※()は場所等	☒ 講義(映像を視聴できる環境下の教室や部屋) ☐ ワークショップ() ☐ 自然体験()					
講座所要時間	45～60分					
実施条件、必要な準備等	会場および映写設備一式(演者は資料パソコンを持参のみ)					

講座内容
他人事でないことを知って頂く工夫と対象者により資料表現等を考慮、作成して講座を行う努力をして参ります。
1)プラスチック(プラ)ごみ汚染 ①プラの生産量、その主用途、環境に流出する量及び汚染実態を知る。 ②近年、プラの人体吸入とその疾病が明確になってきた。 ③プラごみ汚染は主に首都圏を流下する河川ごみからであることがわかってきた。 ④横浜市を流れる帷子川の川ごみを分析するとゴミ集積所から河川に入ることが多いことが分かったが、その対応はいまだ十分にとられていない。 ⑤レジ袋が有料化されて以降、河川ごみとしては激減したが、食品購入時フィルム状の袋は依然多く見つかる。 ⑥使用するプラスチックが本当に必要かを問い直してみる必要がある、今から。 ⑦家の近くのごみを拾う努力をしよう、今から。 2)温暖化 ①温暖化がなぜ起こるかを分かりやすく、正しく理解することが大事な出発点となる。 ②温暖化がこれから人類や生物に与える計り知れない影響を理解しなければならない。 ③どうすれば温暖化影響を小さくすることが出来るのだろうか？ ・国の目標は？県(市)の目標は？ ・今、目標のどの地点にいるのだろうか？ ・将来の家はどうなってゆくのだろうか？ ・将来の食物はどうなってゆくのだろうか？ ・今から、私たちがやるべきことは何だろうか？

問合先 (団体名: 横浜温暖化防止推進会議 TEL: 080-9405-5664)

メールアドレス: thsky@tbg.t-com.ne.jp